



## ルンドベック・ジャパン株式会社

東京都港区虎ノ門

Tel 070-7538-5301

E-mail [yuok@lundbeck.com](mailto:yuok@lundbeck.com)

四丁目1番17号 神谷町プライムプレイス

[www.lundbeck.co.jp](http://www.lundbeck.co.jp)

## Press Release

2023年2月13日

報道関係各位

本資料は、ルンドベック（デンマーク・コペンハーゲン）が2023年2月7日（現地時間）に発表したものを日本語に翻訳したものであり、日本では未承認の製品が含まれます。資料の内容および解釈については英文オリジナルが優先されます。英文オリジナルは、[Lundbeck delivers record revenue of DKK 18.2 billion and grows 12% in 2022 - H. Lundbeck A/S \(cision.com\)](https://www.cision.com)をご参照ください。

## 2022年、ルンドベックは過去最高の売上高 182 億デンマーククローネを達成し、12%の成長を達成

### ハイライト

2022年、戦略製品の成長はさらに加速し、売上高 31%増（現地通貨ベースで 20%増）、合計 121 億デンマーククローネ（以下 DKK）で、総収入の 67%に達しました。

- Brintellix<sup>®</sup>/Trintellix<sup>®</sup>（トリンテリックス<sup>®</sup>）の売上高は、前年比 21%増の 42 億 7700 万 DKK（現地通貨ベースで 13%増）
- Rexulti<sup>®</sup>/Rxulti<sup>®</sup>の売上高は 37%増の 38 億 9000 万 DKK（現地通貨ベース 21%増）
- Abilify Maintena<sup>®</sup>の売上高は、22%増の 29 億 6400 万 DKK（現地通貨ベース 16%増）
- Vyepti<sup>®</sup>の売上高は、104%増の 10 億 400 万 DKK（現地通貨ベース 80%増）

売上高は、全てのマーケットが大きく貢献し、12%（現地通貨ベースでは 7%）増の 182 億 4600 万 DKK となりました。

- 米国：22%増の 91 億 200 万 DKK（現地通貨ベースで 7%増）
- インターナショナルマーケット：13%増の 52 億 300 万 DKK（現地通貨ベースで 6%増）
- 欧州：11%増の 42 億 5200 万 DKK（現地通貨ベースで 12%増）

製品売上における為替差益は、ヘッジによるネガティブの効果（5 億 8800 万 DKK）により、引き続き部分的に相殺されましたが、特定のコスト項目は為替レートによる影響を大きく受けました。販売管理費は 13%増、そのうち実質的な増加分は 4%でした。2022 年はいくつかのマーケットで Vyepti<sup>®</sup>を上市するためのマーケティングおよび販売コストへの投資が増加したにもかかわらず、2022 年 EBITDA マージンは 2021 年の 22.8%から 25.6%に改善しました。

- EBITDA: 25%増の 46 億 6300 万 DKK
- EBIT: 42%増の 28 億 5200 万 DKK
- コア EBIT: 18%増の 41 億 5500 万 DKK
- EPS: 45%増の 1.93DKK
- コア EPS: 28%増の 3.22DKK

当社の配当政策に基づき、1 株当たり 0.58DKK、2021 年比 45%増の 5 億 7800 万 DKK の配当を行うことを提案します。

**四半期ごとの業績発表に関連して、ルンドベックのプレジデント兼 CEO であるデボラ・ダンサイアは次のように述べています。**

「2022 年はこのような業績を達成することができ、大変嬉しく思います。過去最高の売上高および記録的な増益を達成しました。パイプラインも引き続き計画通りに進展しています。2023 年は、引き続き戦略製品の成長により堅実な業績を達成すると同時に、Vyepti®の継続的なグローバル展開およびアルツハイマー型認知症に伴う行動障害におけるブレクスピプラゾール、アリピプラゾール 2 か月持続性注射剤の上市への投資を継続していきます。」

| 単位百万 DKK                  | 2022 年        | 2021 年 | 成長率 | 2022 年  | 2021 年  | 成長率    |
|---------------------------|---------------|--------|-----|---------|---------|--------|
|                           |               |        |     | 第 4 四半期 | 第 4 四半期 |        |
| (コアベース)                   |               |        |     |         |         |        |
| 売上高 <sup>1</sup>          | <b>18,246</b> | 16,299 | 12% | 4,680   | 4,053   | 15%    |
| EBIT <sup>1</sup>         | <b>4,155</b>  | 3,517  | 18% | 783     | 544     | 44%    |
| 1 株当たりの純利益 <sup>1,2</sup> | <b>3.22</b>   | 2.51   | 28% | 0.61    | 0.42    | 45%    |
| EBIT マージン <sup>1</sup>    | <b>22.8%</b>  | 21.6%  |     | 16.7%   | 13.4%   |        |
| (財務ベース)                   |               |        |     |         |         |        |
| 売上高                       | <b>18,246</b> | 16,299 | 12% | 4,680   | 4,053   | 15%    |
| EBITDA                    | <b>4,663</b>  | 3,720  | 25% | 910     | 440     | 107%   |
| EBIT                      | <b>2,852</b>  | 2,010  | 42% | 403     | 6       | 6,617% |
| 1 株当たりの純利益 <sup>2</sup>   | <b>1.93</b>   | 1.33   | 45% | 0.31    | -       |        |
| EBIT マージン                 | <b>15.6%</b>  | 12.3%  |     | 8.6%    | 0.1%    |        |

1. 「コア売上高(Core Revenue)」、「コア EBIT(Core EBIT)」、「コア EBIT マージン(Core EBIT margin)」および「コア 1 株当たりの純利益(Core EPS)」の定義については、原文の別紙注 2「Core Reporting」を参照ください。
2. EPS は、2022 年 6 月 8 日に完了した株式分割により、株式額面を 1DKK として計算しています。比較数値は、取引単位が額面 5DKK から 1DKK に変更されたことを反映して修正再掲示しています。

ルンドベックは、2023 年 1 月、アルツハイマー型認知症に伴う行動障害の治療薬のブレクスピプラゾールの追加承認申請 (sNDA) が FDA に受理され、優先審査が認められたことを発表しました。審査終了目標日 (PDUFA date) は 2023 年 5 月 10 日に設定されています。

Lu AG13909 は、当社初の神経ホルモンプロジェクトであり、2022 年 12 月に第 I 相臨床試験に移行しています。Lu AG13909 は、ヒト化抗副腎皮質刺激ホルモン(anti-ACTH)モノクローナル抗体で、副腎皮質刺激ホルモンと副腎のメラノコルチン 2 受容体の結合を阻害し、副腎皮質刺激ホルモンの神経ホルモンシグナルを低下させます。

## 2023 ガイダンスと中期目標

2023 年、ルンドベックは Vyepti® のグローバル展開を進め、約 15 地域で上市する予定です。さらに、2023 年後半に関係当局の承認を待って、統合失調症治療および双極 I 型障害の維持療法に用いるアリピプラゾール 2 ヶ月間持続性注射剤 (LAI) およびアルツハイマー型認知症に伴う行動障害のアンメットニーズに応えるプレクスピプラゾールの上市を計画しています。

2023 年の財務ガイダンスは、将来的に大きな成長をもたらす、これらの重要な上市に必要な投資見込みを反映しています。一部の地域で価格下落や独占期間満了の製品があるにもかかわらず、戦略製品の力強い成長を引き続き見込んでいます。2023 年は、インフレによる影響が 2022 年よりも格段に大きくなると想定しています。2023 年の財務ガイダンスの概要は以下のとおりです。

## 財務ガイダンス

| DKK   | 2021 年実績         | 2022 年実績         | 2023 年ガイダンス     |
|-------|------------------|------------------|-----------------|
| 売上    | 162 億 9900 万 DKK | 182 億 4600 万 DKK | 194 億-200 億 DKK |
| EBTDA | 37 億 2000 万 DKK  | 46 億 6300 万 DKK  | 48 億-52 億 DKK   |

ルンドベックは、主要地域の独占期間満了による影響が限定的な時期にあり、戦略製品の堅調な成長を見込んでいます。2023 年および 2024 年は、アルツハイマー型認知症に伴う行動障害の治療薬であるプレクスピプラゾールのブロックバスターの可能性を背景に、集中的な投資を想定しています。オーガニックグロースに基づいて、中期的 (3-4 年) には売上高の年平均成長率 (CAGR) が、一桁台半ばになると予想しています。同時に、引き続き効率性の向上に注力し、支出において細心の注意を払います。これらの前提にもとづき、事業開発を除く現在のビジネスにおいて、中期的に 30-32% の EBITDA マージンをめざします。

別紙

2022 年フィナンシャルレポート詳細 <https://mb.cision.com/Main/18215/3710310/1831362.pdf>

## <将来予測に関する記述>

本プレスリリースの将来予測に関する記述は、リスクおよび不確実な要素、予測が含まれます。実際の業績は、現在の予測とは大きく異なる場合があることをご了承ください。将来の業績に影響を与える要因には、金利および為替変動、開発プロジェクトの遅延または失敗、生産上の問題、予期せぬ契約違反または契約の終了、規制当局による強制的または市場誘導による製品の価格引き下げ、競合製品の参入、新製品および既存製品を成功裡に導くための企業能力、製造物責任およびその他の訴訟の発生、保険償還および法規制の変更および予期せぬ支出の増加などがあります。

### < Lundbeck (H.Lundbeck A/S) について >

Lundbeckは精神・神経疾患に特化したグローバル製薬企業です。70年以上にわたり精神・神経科学研究の最前線に立ち、日々すべての人が最善の状態になれることを目指して、Lundbeckの存在意義である脳の健康を回復することに注力しています。

私たちは、脳疾患患者さんに対する偏見や差別をなくし、より広く受容される社会を醸成することにコミットしています。私たちの研究プログラムは、神経科学における最も複雑な課題に取り組んでおり、私たちのパイプラインは、治療法の選択肢がほとんどない脳疾患に対する革新的な治療法の実現に重点を置いています。

Lundbeckに関する詳しい情報は、[www.lundbeck.com/global](http://www.lundbeck.com/global) をご覧ください。

### < Lundbeck・ジャパン について >

Lundbeck・ジャパンは、2001年に日本法人を設立、2019年にトリンテリックス®のコ・プロモーションのため、コマーシャル本部を構築し営業活動を開始いたしました。精神・神経疾患領域に特化した製薬企業として、グローバルで蓄積した豊富な知識と知見をもとに、日本においても患者さんの治療向上とより良い生活に貢献するために取り組んでいます。Lundbeck・ジャパンに関する詳しい情報は、[www.lundbeck.co.jp](http://www.lundbeck.co.jp) をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

Lundbeck・ジャパン株式会社 コミュニケーション&パブリックアフェアーズ 岡 幸恵

Email: [yuok@lundbeck.com](mailto:yuok@lundbeck.com) Tel: 070-7538-5301 Fax: 03-5733-8691